

令和6年11月15日発行

広報“COCO ケア”

“Community comprehensive care”

Hand in Hand ～ 手を携えて ～

第17号

(公益社団法人 宮崎市郡医師会 地域包括ケア推進センター)

ごあいさつ

暑い日が続きましたが、ようやく秋らしく金木犀が香る季節となりました。日頃より、医療介護連携推進事業にご協力をいただき感謝申し上げます。令和6年8月28日に到来した台風10号に伴う竜巻等によって被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

夏にはコロナウイルス感染症が再び流行し、第11波ともいえる「KP.3」の影響で感染者が急増しました。現在は落ち着きつつある状況にありますが、これから寒い冬に向かう中、新型コロナのみならずインフルエンザの感染症の流行も懸念されます。このような災害発生時や感染症流行時にも対応できる、切れ目のない包括的な支援体制の構築が大切であり、大きな課題であると実感しました。今後も、関わる皆様と手を携え、職員一同取り組んで参ります。季節の変わり目、どうぞお健やかに過ごしてください。



★特集「知っとう！医療介護に関わるお仕事」★ 第16回

今回は、宮崎県歯科衛生士会取り組みについて、会長の近藤様にご寄稿いただきました。

「宮崎県歯科衛生士会のご紹介」

宮崎県歯科衛生士会
会長 近藤 泰子



本会は、公益社団法人日本歯科衛生士会の傘下で1963年（昭和38年）6月に設置され、現在81名、県内就業者のわずか5%の入会率で、全国の歯科衛生士会ではとても小さい団体です。今年で61年が経過いたしました。1963年と言えば、老人福祉法が施行された年で、日本は、高度経済成長期となり都市化、核家族化が進展、地域における高齢者福祉が問題となってきた頃です。今振り返ってみると、時代と共に歯科衛生士を取り巻く環境や役割は随分変化していきました。

歯科衛生士は、戦後まもなく誕生した日本に実態のない新しい職業です。むし歯が蔓延している当時の日本にフッ化物を塗布する仕事として全国の保健所に配属されましたが、今では多くが歯科医院において、歯科診療補助、歯科予防処置そして歯科保健指導の業務を担っています。

歯科の一大イベントと言えば6月！

1928年（昭和3年）に始まった“むし歯予防デー！”は、6月4日のむ（6）し（4）にちなんで名づけられましたが、2013年（平成25年）に「歯と口の衛生習慣」と名称が変わっています。本会でもこの時期になると県内各地域の歯科医師会に協力させていただき、多くの住民へ歯科の啓発をしています。会の活動は、口腔が人の一生のどのステージにも欠かせないことから乳幼児期（妊

娠期含) から最期まで関わりを持っています。



乳幼児期 [1歳6か月児・2歳児・3歳6か月児歯科健診時のフッ化物塗布や保健指導、保育所幼稚園での歯磨き指導、フッ化物洗口指導、子供の歯の教室での講話]

学齢期 [小・中学校、特別支援学校、通所施設の生徒、保護者、職員への歯磨き指導や健康教育]

青年期 [歯周病予防などの健康教育]

成人期 [企業歯科健診時の歯磨き指導や特定健診の中の歯科相談]

高齢期 [オーラルフレイル予防教室や、自立支援型地域ケア会議への出席、介護施設等や在宅療養者への口腔ケア指導、障がい者や認知症の方へ対応]

その他健康イベントなど、行政や各種団体からの依頼に対応しています。



会では、研修会を毎年開催し、本会員以外の歯科衛生士や歯科関係者にも研修の場を提供しています。日本歯科衛生士会の主催する認定歯科衛生士制度を活用し、歯科衛生士自身のスキルアップとなる資格取得のための後押しもしています。また県

歯科医師会と共に県の委託を受け、口腔ケアマニュアル、障がい児者へのリーフレット、支援学校への歯磨きカードなどを作成していますので、県内で働く歯科衛生士はもちろん、施設や学校で歯科に携わっている方に広く活用してもらえるとありがたいです。(詳しくは、県健康増進課ホームページ 保健・健康づくり 歯科保健 をご覧ください)

歯科衛生士は、よりよく生きるために“食べる”に着目したケアを実践する仕事であり、歯科衛生士の実施する口腔ケアは、『口腔健康管理』という名称で呼ばれ、機械的に歯ブラシ等を使用して清掃する目的と、口腔機能維持のための目的があります。介護の現場では、口腔ケアとよばれていたものが口腔衛生等管理となり、摂食嚥下機能、食形態、栄養状態、誤嚥性肺炎予防など、摂食支援という視点に変化しています。

災害避難所では、災害関連死の3割を占めるという肺炎防止のために、お口の中から命を守る、高齢者の誤嚥性肺炎を防ぐケアを行います。毎年行われる県や市の災害訓練にも参加し、東日本大震災、熊本地震の際には、歯科医師と共にチームとして派遣されて活動いたしました。



東日本大震災避難所 (体育館)



熊本地震避難所 (保健センター廊下)



地域では、住み慣れた場所で高齢者を見守る地域包括ケアシステムの構築がなされ、地域ケア会議において、他の職種と同じ立場で歯科衛生士が助言することは、本会にとっても大きな励みとなりました。今後も多職種との連携を密にして、介護予防を口腔から伝えていきたいと思ひます。

近年、宮崎県の歯科衛生士不足が問題となっています。復職支援や離職防止として歯科医師会と協力してイベント等を実施していますが、なかなか現状の回復がなされていません。また職場は行政、大学病院、個人総合病院、養成機関、高齢者施設などにも広がっていますが、非正規雇用が多く、立場はまだま

だ十分とは言えません。

歯科衛生士自身がイキイキと、今以上に必要とされる未来に向かっていけるよう、会の運営にもっと知恵を絞って、会員の拡大にも繋げていきたいと思っております。どうぞご意見ご要望、ご依頼などがございましたら、お気軽に下記までお寄せください。今回はこのような機会をいただき、誠に感謝いたします。今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

宮崎県歯科衛生士会事務局
〒880-0021 宮崎市清水1-12-2 宮崎県歯科医師会館内
Mail miyazakidha@gmail.com
お問い合わせはメールでお願いいたします m(_ _) m

地域包括ケア推進センター活動報告

〇8月22日『第18回 在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会』を開催しました。

今回は、にしだ皮膚科 院長 西田隆昭 先生を講師にお迎えし、「皮膚科疾患についての一皮膚科医の考え方」をテーマにご講話をいただきました。当日は会場とWeb合わせて83名のご参加がありました。「在宅医療の現場でも遭遇するさまざまな皮膚科疾患」について、原因や治療法まで画像を交えてわかりやすくご説明をいただき、事後アンケートでは「皮膚科は本当に奥が深いと改めて思った。」「高齢者の皮膚トラブルで対応することも多いのですが、大変参考になるお話だった。」「患者さんへの声掛けで参考になりそうな内容だった。」等のご感想をいただきました。



ご参加ありがとうございました

〇9月12日『在宅医療介護連携推進事業にかかる行政説明会』を開催しました。

宮崎市・宮崎県の担当者を講師に、在宅医療介護連携推進事業にかかる行政の取り組みについて説明会を実施しました。当日は会場とWeb合わせて32名のご参加をいただきました。説明の概要は以下のとおりです。

【「いきいき健康手帳」 宮崎市地域包括ケア推進課 日野莉奈氏】

65歳以上の方に無償で渡しており宮崎市民の皆様が年齢を重ねても、住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていただけるようこころと体に必要な情報やヒントを盛り込んで作成しています。



【「オーラルケア・フレイル予防事業」 宮崎市地域包括ケア推進課 小野美里氏】

実施歯科医療機関にて個別に「いきいき歯つらつ健診を受診した76歳・81歳」「実施歯科医療機関を受診した65歳以上の宮崎市民」が対象で、口腔機能低下の疑いまたは口腔機能低下が認められ、口腔プログラムを希望した方に、問診・健診・口腔体操指導＋セルフケアを実施し口腔機能を高め健康の保持増進を図る取り組みを行っています。



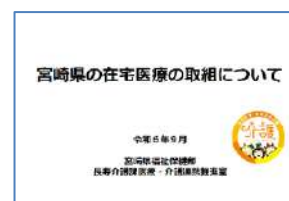
【「成年後見人制度について」 宮崎市福祉総務課 松岡真一郎氏】

ご家族に判断能力の低下があり今後の金銭管理や契約行為に課題がある場合や、頼れる親族がおらず認知症になった際の不安等ある際は、早めに成年後見人制度等の利用について相談していくことが重要です。



【「宮崎県の在宅医療の取組」 宮崎県長寿介護課 藏元真理子氏】

在宅医療・介護の課題解決に向け、第8次宮崎県医療計画を作成しています。今後、各市町村にヒアリングを実施し、協議会の活動状況や関係団体との連携状況等を確認し、県として研修会の実施やその他必要な支援を行ってまいります。



【お知らせ】★パンフレットを配付しています★ ①

- ①宮崎市・国富町・綾町在宅医療実施施設名簿 第11版
※推進センターホームページにも掲載しています。
- ②看取りのパンフレット ～旅立ちへの道しるべ～
(患者用・スタッフ用・ポスター)
- ③在宅療養サポートBOOK



ご希望の事業所は、
地域包括ケア推進センター (77-9106)
までご連絡ください。

★ホームページをご覧ください★

地域包括ケア推進センター専用ホームページを開設し、センターの取り組み内容や研修案内、皆様の業務に関連したお役立ち情報を掲載しています。

「在宅医療介護ネットワーク推進のための宮崎市郡 医療介護関連資源集」の情報(令和6年4月作成)をホームページに掲載しています。資源集を通じて、医療・介護関係者の連携が円滑にゆき、地域包括ケアシステムの構築をより促進するという効果を期待しております。ホームページの「お知らせ」または「各種文書」コーナーからご覧いただけますので、是非ご活用下さい。

また、「こんな情報があったらいいな」「この研修案内を載せてほしい」等のご要望もお受けいたします。お気軽にご連絡ください。

<https://www.coco-care.com/> または、右記QRコードよりご覧下さい。



★講演会、研修会等の講師を探すお手伝いをします★

推進センターでは、医療・介護に関わる多職種や各団体の方との連携し、事業に取り組んでいます。研修会などを開催するにあたり「講師を紹介してほしい」「依頼の仕方を教えてほしい」等、お困りがありましたら、お手伝いをします。お気軽にご相談ください。

今後の活動予定

- 12月1日(日)開催：住民公開講座『人生会議(ACP)って知ちよる? やちちよる? ～私が相談したい大切なこと～』
※詳しくは推進センターまでご連絡ください。
 - MICT研修(訪問、Web、DVD貸出)
- ★医療介護連携に関する様々な相談をお受けします。お気軽にどうぞ。

開設時間

- 月～金曜日
午前8時30分～午後5時00分
- 土曜日
午前8時30分～正午
※日曜・祝日・年末年始を除く

〔発行〕公益社団法人 宮崎市郡医師会
地域包括ケア推進センター(医師会病院棟1階)

〒880-2102 宮崎市大字有田1173番地
TEL: 0985-77-9106(直通) FAX: 0985-77-9126(専用)
E-mail: care-suisin@cure.or.jp